



春の妖精 カタクリが開花しました

～23区有数の自生地「清水山憩いの森」へ、カタクリを見に行きませんか？～

と き	3月24日撮影
と ころ	清水山憩いの森（大泉町1-6）
23区有数のカタクリの自生地「清水山憩いの森」(7,567㎡)で、22日に一番花が開花した。 清水山憩いの森には、約10万株(推定*)のカタクリが自生しており、見ごろを迎えると森の北向き斜面が薄紫色のカタクリの花で覆われる。 今年の見ごろは、4月1日から8日になる見通し。	



【今年が一番花】

[*当初記載した推定株数から修正しています]

【薄紫色のカタクリがこれから見ごろを迎えます】

カタクリは、晴天の日には気温が上がると開花し、夕方には閉じてしまう。また、曇りや雨の日、寒い日は花びらを閉じてしまう。みどり推進課では「きれいに咲く姿を見るには、天気のいい暖かい日にお越しください。4月10日ごろまで楽しめます」と話している。

清水山憩いの森には、カタクリの開花時期に限り、カタクリの生態や森に生息する植物なども説明する「カタクリガイド」がいる。希望者は説明を聞くことができ、毎年、ガイドの説明を楽しみに訪れる人も多く、毎年約1万人が訪れる。ガイド申し込みは現地受付、予約不要。4月中旬まで毎日午前9時から午後5時まで滞在する。

昨年、一番花が咲いたのは3月13日。昨年よりも遅めの開花となったが、カタクリガイドは「昨年よりは遅いですが、今年は平年並みです。2月の降雪の影響がなければ、もう少し早く咲いたかもしれません。」と話している。

【カタクリの紹介】

カタクリはユリ科に属する多年草で、冬から早春にかけて陽光が降り注ぐ、湿り気のある落葉樹林に見られる。通常北向きの斜面林に多く見られ、武蔵野の面影を残す典型的な雑木林である「清水山憩いの森」でも、北向きの斜面に生えている。

カタクリは、種子から花が咲くまでに7～8年かかり、草丈は10cmほど。2枚葉を出し、2枚の葉から出る茎の先に花をつける。花は通常薄紫色で下を向き、6枚の花びらを外に反り返らせて咲くのが特徴。一株の開花期間は一週間程度で、例年3月下旬から4月上旬にかけて次々に咲き始める。



過去の見ごろの時期の様子
(平成24年4月9日撮影)

【清水山憩いの森】

昭和49年6月、区民の方から、白子川流域の斜面林にカタクリが自生しているという情報が区に寄せられ、翌年3月にカタクリがたくさん残っていることが確認された。この貴重な自然を末永く保存するため、区は昭和51年に「清水山憩いの森」として整備を行い一般に公開している。

- 交通 西武バス・国際興業バス（石神井公園駅北口～成増駅南口、光が丘駅～土支田循環）で「土支田二丁目」下車徒歩約3分
練馬区みどりバス（光が丘駅～保谷駅）で「土支田地域集会所」下車 徒歩約4分（駐車場はありません）

【問い合わせ】環境まちづくり事業本部みどり推進課みどり事業係 電話 03-5984-1683